

特集：水電解質と輸液

序 説

飯野 靖彦

水電解質の知識は腎臓内科医にとって必須のものである。なぜならば、腎臓は陸上動物にとって体液を調節する最も重要な器官であるからである。細胞が適切な機能を発揮するためには内部環境と呼ばれる体液を一定に保つ必要がある。これが恒常性の維持と呼ばれるものである。今回の総説では、わかりやすく最先端の知識を提供している。腎臓での水電解質輸送の知識は飛躍的に増大しており、電解質異常や輸液治療にとってこの知識があるかないかによって病態の改善は異なってくる。またそれ以上に腎臓機能の面白さはこの電解質調節系にあると言ってもよい。まだまだ水電解質調節系にはわからないことが多く存在し、努力とアイデアによって解明できる可能性は非常に高い。かつて、水電解質調節系に魅入られた一人として、ぜひ若い腎臓内科医に興味を持ってほしい。この総説がその一助になることを願っている。